音鑑・夏の勉強会 2022

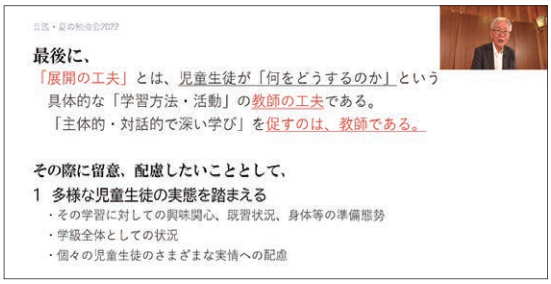
インターネット講習
《講習１》2022 年 7 月 29 日～８月 12 日（オンデマンド動画配信）
《講習２》2022 年８月 20 日（オンライン・ミーティング）

2022 年度の「音鑑・夏の勉強会」は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネット講習（オンデマンド動画配信＋オンライン・ミーティング）で行いました。

《講習１》 プログラムと講師
① 講演「鑑賞指導の進め方Ⅱ」　藤沢章彦（音鑑理事／元国立音楽大学教授）
② 講演「GIGAスクール構想でのICT端末活用」　西田光昭(柏市教育委員会教育研究専門アドバイザー)
③ 講演「鑑賞の指導と学習評価のポイント」　音鑑研究委員会
勝山幸子（東京都港区立御成門中学校主任教諭）

●《講習１》オンデマンド動画配信

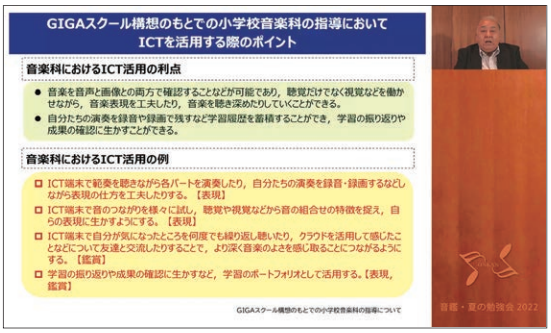
① 講演「鑑賞指導の進め方Ⅱ」



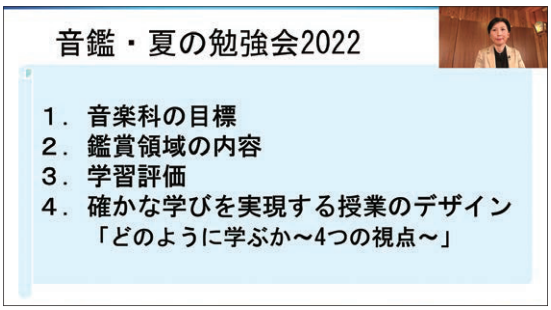
「題材の構成と展開」についてお話しいただきました。普段よく実践されているＡ:楽曲による題材構成、Ｂ：主題による題材構成　に加えて、Ｃ:ＡやＢから学習内容を連想ゲームのようにつなげて発展する題材構成についてです。学習に「深みと広がり」をもたせるということで、具体例を挙げて説明くださいました。

② 講演「GIGA スクール構想での ICT 端末活用」

内容は、●GIGAスクール構想　●一人一人を主語にした令和の日本型学校　●ポストGIGAの取り組みについてです。特に、１人１台端末での学びが、どんな資質・能力を育てるのか、「課題の発見・設定」「情報の収集・整理」「まとめ・表現」の学習過程に添ってお話しくださいました。



③ 講演「鑑賞の指導と学習評価のポイント」

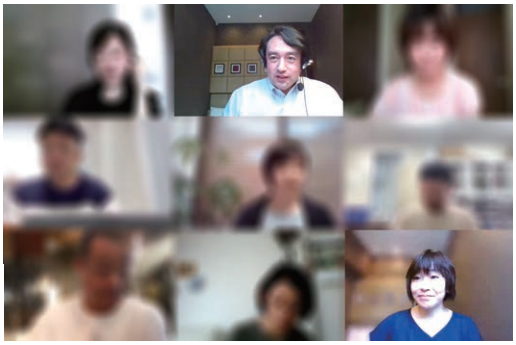


音楽科の目標や内容が、どのように学習評価に結び付くのか、具体例を挙げながら示していただきました。また、それをもとに実際の授業では、どのようなことを視点に授業を組み立てたらよいか、「どのように学ぶか」の４つの視点に添いながら、具体例とともにお話しいただきました。

《講習２》　オンライン・ミーティング　内容と講師
グループ研修「指導と評価の場面について具体的に考える」　音鑑研究委員会
小学校グループ　教材「こきりこ」
館　雅之（神奈川県横浜市立太尾小学校校長）
井上奈々（東京都千代田区立千代田小学校主任教諭）
中学校グループ　教材「魔王」
安部文江（長野県小諸市立小諸東中学校教諭）
水谷　愛（埼玉県川越市立鯨井中学校教諭）

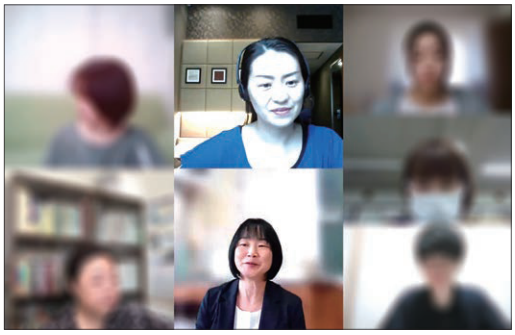
●《講習２》オンライン・ミーティング

小学校グループ



・富山県の民謡「こきりこ」を教材として、映像を視聴してその教材性を考えました。
・音鑑研究委員会で考えた事例（目標や評価規準、指導計画など）を紹介し、その中で、「こきりこ」のよさや面白さを味わって聴く子どもの状況をどのように捉えて評価するかを個々に考え、意見交換します。
・Ａ、Ｂと評価する紹介文をそれぞれが考え、意見交換することで、評価方法や留意点について再確認しました。
・郷土の音楽の教材化について押さえ、研修のまとめとしました。

中学校グループ



・《講習１》の講演③を振り返り、「どのように学ぶか」の４つの視点について確認した後、音鑑研究委員会で考えた「魔王」の事例（目標や評価規準、指導計画など）を紹介し、指導の流れなどのポイントを押さえました。
・事前課題１：音楽の特徴と紹介文に関わる「授業で使うワークシートに生徒の目線で記入」したものを発表し、意見交換します。
・事前課題２：紹介した事例の指導の流れを「どのように学ぶか」の４つの視点で、学習内容や学習活動にふさわしい指導と評価のポイントを確認しました。

【アンケートより】
《講習１》① 題材構成について改めて理解することがでた。連想ゲームが面白く、発想を膨らませていけば多様な題材構成を考えられると思う。自分の鑑賞授業を再点検することができた。
② なぜICTが必要なのか，未来を見据えて授業を構想する必要感を改めて感じた。ICTが導入された目的、活用の仕方がストンと落ちた。
③ 指導と評価の一体化について、具体的にどのように授業改善に生かせばよいかが大変参考になった。
《講習２》小学校：評価について、具体的な子どもの姿を考えながら意見交流できて勉強になった。いろいろな評価方法や考え方があることを知ることができてよかった。
中学校：普段、音楽科の先生と話しながら題材を検討することが無いので、教材曲について意見を交わしながら検討できてとても楽しかった。